



朝一小だより

活気あふれ、心が躍り、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

・考える子
・やさしい子
・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和7年11月1日

児童数 613名



なりたい大人になれますように

校長 金子 二郎

まるで徒競走のようなスピードで秋がやってきたようで、朝晩の冷え込みに体調を崩したのか、マスクをしている児童も多くなっているようで心配になります。例年になく感染症の流行がはやいことも気になります。保護者や地域の皆様はいかがお過ごしでしょうか。風邪などお召しにならぬようくれぐれもお気を付けください。

さて、先月18日に令和7年度の運動会を開催したところ、多くの保護者の皆様やご来賓の方に、本校児童が力一杯走り、跳び、踊る姿をご覧いただくことができました。暑さがようやく峠を越えた9月下旬から、限られた時間の中で練習に打ち込み、日を追う毎に走りや演技に磨きがかかり仕上がっていく様子を目の当たりにし、一人一人の持つ可能性に驚かされました。達成感に満ちあふれた輝く顔、誰にも負けないくらい努力してきたのに力を出し切れずに悔しい思いを隠し切れない顔。悲喜こもごもの表情



に見る者も胸が熱くなり、「大人だって負けてはいられないな」と背中を押される思いがしました。運動会はスポーツが得意な子供のためだけの舞台ではありません。どちらかと言えば体を動かすことを敬遠しがちな子供にとっても、練習を重ね「できなかったことができるようになった」姿をご覧いただく大切な機会です。努力して成し得た経験が健やかな成長にとっての一番の推進力になります。子供一人一人が主人公であり、たとえば自己満足であったとしても、「われながらよく頑張ったな」と自分をほめられれば及第点です。同時に見る側の大人も着順などの結果に一喜一憂してしまうだけでは、それ観客にすぎないのかもしれないかもしれません。順位や勝ち負けに振り回されることなく、成長した子供の姿をほめて次の目標を目指すことができるよう静かに励ますことこそが、大人として大切なのかも知れません。そう考えると今回の運動会を成功に導いたのは、弱音を吐くことなく練習に打ち込んだ一人一人の子供の頑張りや、それに応えた教職員の熱意だけでなく、体操着の洗濯や用具の準備に始まり、わが子を励まし続けてくださった保護者の皆様のお力添えに拠るところが少なくないことに改めて気付かされます。さらに運動会から目を転じれば、授業での実技支援や校外学習の引率にご協力くださるPサボをはじめとする保護者の皆様、学びの場や素材を快く提供してくださる、地元企業をはじめとする地域の皆様。数えきれないくらい多くの方の応援があって、一小の子供たちは日々着実に成長することができています。一小の子供たちが自分の成長を実感し、その成長が多くの方の助けに支えられていることに気付いて感謝し、「いつか私もそんな素敵な大人になりたいな」と思ってくれたらと願ってやみません。



能力を褒めるのと、努力を褒めるのとでは結果が違う (中野信子)